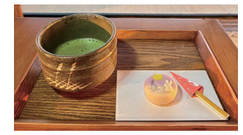
「月の松島in観瀾亭」を開催しました

中秋の名月の9月25日、観瀾亭で「月の松島in観瀾亭」が開催されました。今年はフルート演奏家の小畑実織氏とピアノ演奏家の蔡翰平氏による演奏会が行われ、会場内は美しい音色に包まれました。

天候はあいにく曇り模様で月を鑑賞することは叶いませんでしたが、来場者はこの日特別に用意された抹茶とお菓子を味わいながら、夜の松島を堪能しました。







ロバ隊長を通じて認知症への理解が広まっています

ロバ隊長は、認知症サポーターキャラバンのマスコットキャラクターです。「キャラバンの先頭を、ロバのようにあわてず一歩一歩着実に前進する」という思いが込められています。

昨年度開催した「認知症サポーターステップアップ講座」で、ロバ隊長マスコットの作り方を紹介したところ、多くの皆さまから手作りしたロバ隊長を町へ寄贈していただきました。

今年度は、認知症サポーター養成講座を受講した町内の小学6年生に、認知症への理解を深め、普及啓発につなげることを目的として、手作りのロバ隊長マスコットを配付しました。

町では、今後も認知症への理解を広める取組を実施してまいります。



▲寄贈いただいたロバ隊長の一部



▲小学6年生に配付しました

松島第一小学校と松島中学校で募金活動を行いました

松島第一小学校と松島中学校の児童生徒が、被災地を支援するため、募金活動を行いました。

児童生徒たちは、被災された方々の力になりたいとの思いから募金を呼びかけ、多くの児童生徒や関係者から温かい善意が寄せられました。

9月15日、16日に、児童生徒の代表が松島町役場を訪れ、集まった募金を松島町長に手渡しました。

今回寄せられた募金は、災害派遣された町職員により熊本県御船町に届けられました。

また、松島中学校で集めた募金の一部は日本赤十字社を通じて千葉県豪雨災害の被災地へ届けられます。

募金額：松島第一小学校76,565円、松島中学校138,858円（内、日本赤十字社を通じて千葉県豪雨災害地へ69,429円、熊本県へ69,429円）





町職員災害派遣レポート
総務課環境防災班主事　安部　克海

令和8年熊本地震に係る被災地支援として熊本県御船町へ派遣されました。

派遣期間は10月3日から11日までの9日間で、主に建物の被害認定調査に従事しました。毎朝のミーティングの後、1班4人体制で調査、判定を行いました。通常の住家のほか明治時代に建てられた古民家や神社なども調査し、普段では得ることの出来ないとても貴重な経験となりました。

今回、得られた経験を今後の災害対応に活かしていきたいと思います。



▲被害認定調査の様子



▲小中学校で集められた募金を被災地へお届けしました

松島町長期総合計画（2026-2035）を策定しました　～vol.6～
誰にでもやさしく、活力あふれる　“ほっと”松島

松島町では、令和8年3月に「松島町長期総合計画（2026-2035）」を策定しました。今月は、基本計画の6つの基本目標のうち、基本目標2「松島の人と自然を守る」についてお知らせします。

基本目標

① 松島の基盤をつくる（インフラ）	② 松島の人と自然を守る（環境・安全）	③ 松島の人々を支える（保健・医療・福祉）
④ 松島人を育む（教育・文化）	⑤ 松島の活力を生み出す（産業）	⑥ 松島のまちづくりの仕組みをつくる（協働・行財政）

基本目標2

松島の人と自然を守る（環境・安全）

豊かな自然を後世に ✖ 安全・安心 ✖ ハードもソフトも

自然を守り、活かすまちづくりや、誰もが安全に暮らすまちづくりに取り組み、自助・共助・公助の意識を高めながら、松島の人と自然を守ります。

06 自然環境保全



目指す姿

町民・事業者・行政が連携し、松島の豊かな自然と景観を守り、共生しています。

- 地球温暖化及び公害対策を推進します。
- 環境衛生対策を推進します。
- 景観を保全します。

07 交通安全・防犯



目指す姿

交通安全施設の整備と町民の高い安全意識により、犯罪抑止も図られ、町民が安心して暮らせています。

- 交通安全を推進します。
- 防犯活動を推進します。

08 消防・防災



目指す姿

関係機関・町民・行政の協働で防災体制が確保され、消防団も浸透し、災害に強いまちになっています。

- 防災意識の向上及び支援体制を構築します。
- 災害に強い基盤づくりを進めます。
- 消防力を充実させます。

次回は、「基本目標3 松島の人を支える」についてお知らせします！

長期総合計画の詳細はこちら→

▶**問合先**：企画調整課 ☎354-5702